

2025年11月 東京地区百貨店売上高概況

2025年12月25日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 558億円余
2. 前年同月比（増減率）	－0.1％（3か月ぶりマイナス）
3. 店頭・非店頭の増減	店頭2.3％（92.0％）：非店頭－21.3％（8.0％） （ ）内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店（本年10月対比±0店）（前年同月比：±0店）
5. 総店舗面積	672,447㎡（前年同月比：0.0％）
6. 総従業員数	12,329人（前年同月比：－1.2％）
7. 3か月移動平均値	4-6月 －8.8％、5-7月 －9.9％、6-8月 －8.1％、 7-9月 －3.7％、8-10月 1.4％、9-11月 1.9％

【参考】2024年11月の売上高増減率は2.7％

【特徴】

11月の東京地区は、売上高0.1％減と僅かに前年を下回った。入店客数は改装効果等から3.5％増と伸長。気温の低下と共にコートやニット等、冬物衣料が好調に推移した。国内売上は0.9％増と3か月連続増。具体的なアイテムの動向は以下の通り。

衣料品(0.2％増)：主力の衣料品は、紳士服・婦人服共にコート等アウター類が本格稼働し、コートは、ウール、非ウール共に伸長。紳士服はスーツやジャケット等、ビジネスアイテムも好調。洋品では、婦人のマフラー等首回りのアイテムにも動きが見られた。

身のまわり品(4.1％減)：ラグジュアリーブランドは国内売上が好調もインバウンドは低調。アクセサリはホリデーシーズンを前に国内ブランドがプレゼント需要増で好調。

雑貨(4.5％増)：化粧品はメイクアップやスキンケアの他、クリスマスコフレ等、幅広いアイテムの購買が見られた他、宝飾や時計は外商顧客向け催事等で伸長。

食料品(0.2％減)：生鮮食品は価格高騰や売場改装工事中等によりマイナスが継続。菓子は秋冬の旬素材を使用した和洋菓子が人気の他、クリスマスケーキの予約は、カットケーキや冷凍ケーキの需要増。歳暮は、店頭は縮小傾向によりややマイナス、ECは割引特典や自家需要増等もあり好調に推移し、全体では微減。

12月足元動向：前年比0.1％増(12/18時点)で推移。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日（前年同月比 ±0.0日）
- (2) 入店客数増減（回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数17店舗）
 - ①増加した：8店、②変化なし：4店、③減少した：5店
- (3) 11月歳時記（歳暮、七五三）の売上（同上／有効回答数10店舗）
 - ①増加した：1店、②変化なし：6店、③減少した：3店

東京地区百貨店 売上高速報 2025年11月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	155,861,967	100.0	-0.1
紳士服・洋品	12,233,138	7.8	1.2
婦人服・洋品	26,416,011	16.9	0.5
子供服・洋品	1,939,133	1.2	-2.8
その他衣料品	1,697,041	1.1	-6.7
衣 料 品	42,285,323	27.1	0.2
身のまわり品	25,023,628	16.1	-4.1
化粧品	13,684,736	8.8	-0.6
美術・宝飾・貴金属	18,079,628	11.6	7.4
その他雑貨	4,535,029	2.9	9.9
雑 貨	36,299,393	23.3	4.5
家 具	1,284,224	0.8	-7.2
家 電	1,189,182	0.8	-2.1
その他家庭用品	3,206,126	2.1	-5.2
家 庭 用 品	5,679,532	3.6	-5.0
生 鮮 食 品	4,915,821	3.2	-5.1
菓 子	12,774,810	8.2	3.3
惣 菜	8,437,052	5.4	4.7
その他食料品	13,856,075	8.9	-4.1
食 料 品	39,983,758	25.7	-0.2
食 堂 喫 茶	2,200,906	1.4	3.9
サ ー ビ ス	2,742,084	1.8	15.7
そ の 他	1,647,343	1.1	-33.1

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	2,420,842 千円	-6.5
従 業 員 数	12,329 人	-1.2
店 舗 面 積	672,447 m ²	0.0

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は衣料品、雑貨の2品目がプラスとなった。
その他の品目は、紳士服・洋品、婦人服・洋品が3か月連続でプラスとなったほか、美術・宝飾・貴金属、菓子、惣菜が4か月連続でプラスとなったが、子供服・洋品が2か月ぶり、化粧品が2か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	－0.1	－	3か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	1.2	0.1	3か月連続プラス
婦人服・洋品	0.5	0.1	3か月連続プラス
子供服・洋品	－2.8	－0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	－6.7	－0.1	12か月連続マイナス
衣料品	0.2	0.1	3か月連続プラス
身のまわり品	－4.1	－0.7	2か月ぶりマイナス
化粧品	－0.6	－0.1	2か月連続マイナス＊
美術・宝飾・貴金属	7.4	0.8	4か月連続プラス＊
その他雑貨	9.9	0.3	3か月連続プラス＊
雑貨	4.5	1.0	3か月連続プラス
家具	－7.2	－0.1	8か月連続マイナス
家電	－2.1	－0.0	12か月ぶりマイナス
その他家庭用品	－5.2	－0.1	4か月ぶりマイナス
家庭用品	－5.0	－0.2	4か月ぶりマイナス
生鮮食品	－5.1	－0.2	20か月連続マイナス＊
菓子	3.3	0.3	4か月連続プラス＊
惣菜	4.7	0.2	4か月連続プラス＊
その他食料品	－4.1	－0.4	3か月連続マイナス＊
食料品	－0.2	－0.0	4か月ぶりマイナス
食堂喫茶	3.9	0.1	2か月連続プラス
サービス	15.7	0.2	3か月ぶりプラス
その他	－33.1	－0.5	5か月連続マイナス
商品券	－6.5	－0.1	21か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・青柳 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>